

今春には、格子天井が美しい和風の大浴場「一の湯」(写真)と宮殿を思わせる「二の湯」がリニューアルオープン。赤湯温泉の内湯と露天風呂は、ゆったり広々としている

お宿が自慢する  
お風呂を訪ねて

# 有馬の名湯めぐり

## 兵衛向陽閣



2006年9月に9階庭園に新しくオープンした湯治場風大浴場「三の湯」。湯治場風の大浴場、露天風呂の他、貸切り露天風呂、ひのき酵素風呂がそろう

日本の名湯のひとつに数えられる有馬の湯。日本書紀の「舒明記」には、舒明3(631)年、舒明天皇が有馬を訪れ、86日もの間入浴を楽しんだと記されている。環境省が療養泉として指定している9つの主成分(単純性温泉、二酸化炭素泉、炭酸水素塩泉、塩化物泉、硫酸塩泉、含鉄泉、硫酸、酸性泉、放射能泉)のうち、有馬の湯には7つもの成分が含まれており、世界的にもこれだけの成分を含んでいる温泉は珍しい。有馬のお宿が自慢する金泉・銀泉のお風呂の数々を訪ねてみた。





## 月光園鴻臚館

春は桜、夏は蛍、秋は紅葉、冬は雪景色、館内からは四季折々に表情を変える落葉山を眺めながら入浴を楽しめる。露天付大浴場と3つのテーマ風呂などお風呂の種類も豊富

## 月光園 游月山荘

鴻臚館と游月山荘の間には、清流・滝川が流れ、露天風呂につかっていると川のせせらぎが聞こえてくる。自然の恵みを感じながら温泉浴を体感できる



## 有馬 グランドホテル

9階の展望大浴苑雲海は、ゆったりとくつろげる癒しの大浴場と露天風呂。規模も有馬最大級を誇り、有馬の壮観で素晴らしい景色が目の前に広がる



## 中の坊瑞苑

2ヶ所ある大浴場は、露天風呂と「開放風呂」と名付けられた半露天風呂付き。夜は満天の星空、朝はあふれる陽光の中で、有馬の金泉を堪能できる







## 銀水荘別館 兆楽

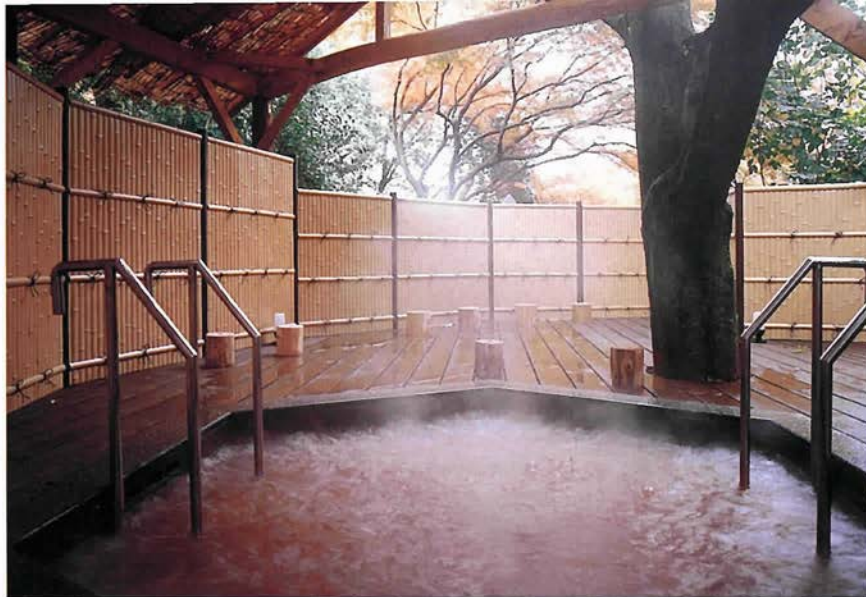
2種類の異なる金泉とラドンたっぷりの銀泉を館内大浴場と露天風呂「櫟の湯」で愉しめる。「櫟の湯」には金泉・銀泉・ジャグジー・歩行湯もそろう

## 角の坊

金泉は、古来より絶えることなく湧きつづける御所泉源と妬（うわなり）泉源よりひいており、含鉄・ナトリウム塩化物強塩高温泉などの成分が豊富に含まれる



## ねぎや陵楓閣



楓が自生する敷地内に佇む山小屋風の建物。木々に覆われ露天風呂「ひぐらし」は、四季の移り変わりを肌で感じながら森林浴でゆったり寛げる

## 元湯古泉閣

有馬随一の湯量と良泉質を誇る自家泉源をもつ。広大な庭園や自然を眺めながら、ゆったり湯船に浸かれる「八角堂」、野趣あふれる「岩風呂」は贅沢の極み







## 有馬御苑

広々とした展望大浴場にある、金泉の岩風呂「上の湯」は温泉風情をかりたててやまない。古代檜を使用した露天風呂もまた風情があって一興

## 御幸荘花結び

「花」をテーマとした繊細なおもてなしの宿。露天風呂「花がすみ」や大展望風呂「花ごよみ」など、お風呂にも花の名称を。客室露天風呂「枳殻（からたち）の間」「松の間」も誕生した





## 竹取亭円山

女湯「妃の湯」・男湯「帝の湯」では、昼は緑々とした竹林、夜はライトアップされまったく異なる温泉情緒を楽しめる。貸切露天風呂「糸竹の湯」「呉竹の湯」では、ゆったり森林浴を

## 金の湯・銀の湯



### 金の湯

2002年、外湯「金の湯」がリニューアル。この地が有馬温泉発祥の地といわれ、「金の湯」の前に建てられている石碑には「日本第一神霊泉」と刻まれている



### 銀の湯

2001年9月、有馬温泉の新しい外湯「銀の湯」が誕生。銀の湯は名前の通り、炭酸泉とラジウム泉のいわゆる「銀泉」専用浴場。



# 有馬温泉ものしり

# Q&A

## Q2 日本三古湯のひとつに数えられる有馬温泉。では、ほかの2つはどこなの？



**A** 日本書紀や風土記などに登場することから、一般的に有馬温泉と愛媛県の道後温泉、和歌山県の白浜温泉をさします。ほかにも白浜温泉のかわりにいわき湯本温泉（福島県）や秋保温泉（宮城県）とする説もあるようです。

ちなみに有馬は草津温泉（群馬県）と下呂温泉（岐阜県）とともに日本三名湯、草津温泉（群馬県）と松之山温泉（新潟県）とともに日本三大薬湯にも数えられています。

なるほど、有馬は日本を代表する名湯なんですね。

## Q3 金泉はなんで赤いの？

**A** 金泉には鉄分が多く含まれています。お湯が湧出して空気中の酸素に触れると、この鉄分が酸化して赤く変色するのです。

ちなみに鉄分を含む温泉は貧血や月経障害などに効能があるといわれ、古来より「婦人の湯」として親しまれています。

鉄分はタオルや下着などに付いたら色が落ちにくいので、入浴の際にはご注意ください。



## Q1 これまで秀吉以外にも歴史上の人物が多く有馬を訪ねているようですが、誰が来たのでしょうか？

**A** 古代は舒明天皇、孝徳天皇などの名も伺えます。奈良時代には行基、平安時代になると和泉式部や小野小町、西行法師など歌人たちのみならず、藤原道長・頼通と権力者も訪ねています。鎌倉時代には藤原定家、室町時代には足利義満も入湯。江戸時代は近松門左衛門や井原西鶴といった上方文化を支えた重鎮のほか、「養生訓」の貝原益軒の名もあり興味深い。明治になると千円札の伊藤博文、五千円札の新渡戸稲造、一万円札の福沢諭吉と揃い踏み。以降も竹久夢二や谷崎潤一郎といった文化人から孫文や蔣介石といった世界史に名を残す人も。一部伝承や説話もありますが、時代を超えて有馬はたくさんの人々に愛されてきたのです。





有馬に息づく伝統の技

有馬の

artisan

職人

PART 1

歴史ある有馬温泉には、同じように長い歴史をもつ名産品や、伝統工芸があります。その中で、今も伝統の技や味を守り続けている職人、工房を訪ねました。



## 元祖炭酸煎餅 三津森本舗

炭酸煎餅は100年変わらぬ味  
やさしい風味は「手焼き」だからこそ

湯本坂を上ると、ほのかに甘い香りが漂ってくる。「三津森本舗」の店先で、炭酸煎餅が焼きあがってくる香りだ。三津森本舗は、炭酸煎餅の元祖。そして手焼きにこだわる唯一のお店として、「いつ食べても変わらない味」を私たちに与えてくれる。

炭酸煎餅は、有馬温泉に湧き出す炭酸水を使ったお菓子。かつては毒水と恐れられていた炭



店頭で手焼き実演販売を行なっている三津森本舗では、焼きたての炭酸煎餅をいただくこともできる





(右) 焼きあがった炭酸煎餅  
(中) 煎餅のはしを割っていく作業  
(左) 50年ほど前から使っている手焼きの機械



おもむきのある三津森本舗の店先



炭酸煎餅が誕生した当初の手焼き機 なつかしい味わいの炭酸煎餅

酸水は、明治の時代に、飲用、浴用に適すると証明された。炭酸水を使った名産を作れないかと、三津森本舗の創業者である三津繁松が、周囲の人々の助言を受けながら試行錯誤。小麦粉、片栗粉、砂糖、塩を炭酸水で練って、うすく焼き上げ、炭酸煎餅が誕生した。その頃は、赤ちゃんの離乳食や、お年寄りの菓子として喜ばれたといい、現在も、添加物はもちろん、卵や乳製品を使わないので、卵や乳にアレルギーをもつ人も安心して食べられるお菓子だ。

三津森本舗が、手焼きにこだわる理由は、「手焼きならではの風味を大切にしたいから」だとか。原材料がまったく一緒でも、機械で焼くとなぜか風味がちがってしまう、30年以上試行を重ねているが、風味のちがいはどうしても解消できないのだという。全自動機械で焼けば、一日数万枚焼けるところを、手焼き機械では数千枚程度とか。それでも、三津森本舗では、かたくなに、変わらないやさしい風味を守り続けている。



有馬に息づく伝統の技

# artisan 有馬の職人 PART 2



筆を立てるとピョコン!  
人形が顔をだす



細い筆に絹糸を巻きつけ、文様をつくる根気のいる作業



蚕が出したままの糸を使う



うろこ模様は魔除け、青海波模様はおめでたいなど、文様には意味のあるものも



西田光子さん

## 西田筆店

### 西田光子さん

一本の絹糸が織りなす美しき文様

文を書くとうと筆をとると、かわいらしい人形がピョコンと顔をだす、有馬の名物「人形筆」。飛鳥時代、孝徳天皇のお后が、有馬に入湯したところお后が授かったといういわれから、人形筆が誕生したのは江戸時代。西田筆店では、約四五〇年の伝統を受け継ぎ、今も人形筆を作り続けている。筆の文様は、絹糸一本一本を巻きつけることでできあがる、根気のいる作業。西田光子さんは、色とりどりの糸巻きを前に、器用な手つきで糸を巻く。「最初と最後の巻き終わりが肝心。糸の巻き方などはわかってても、その後は熟練の技が必要」と西田さん。西田家にお嫁に来たことが、人形筆を作るきっかけに。お嫁さんの明子さんが、人形が飛び出すカラクリ作りを担当している。代々続く母の思いが、美しくかわいらしいこの人形筆に表れているようだ。



器用で素早い手さばきに目をうばわれる

有馬に息づく伝統の技

有馬の

職人

PART 3

竹芸有馬籠くつわ  
轡昭竹斎さん

茶人の心を編みこんだ伝統の竹芸

桃山時代、顕如上人（光佐）

が有馬土産として、秀吉夫人・ねねに有馬籠を贈ったと文献に記されている、四五〇年以上の歴史をもつ有馬籠。有馬界隈、六甲山に自生する竹は良質で、細工に適していたため、有馬で籠細工がさかんになったという。中でも六甲山系にしかない猪名野笹竹は、よくしなつて細工に最適であるだけでなく、その趣きのある風合いが魅力。秀吉、利休にゆかりのある有馬温泉では、茶の湯の席も多く、茶道具として使われる有馬籠は、茶花を生かす素朴な風合いをもち、現在も茶人たちに親しまれている。



轡昭竹斎さん



猪名野笹竹を使った有馬籠は花器として好まれる

その有馬籠の技を唯一受け継ぐ「有馬籠くつわ」では、店主の轡昭竹斎さんが、熟練の手さばきで籠を編む姿がある。店内には、野にあるものらしくざっくり編んだ竹かご、精緻に編みこまれた文様のかご、さまざまな表情のかごが並ぶ。現在では、籠のバッグなども人気だとか。自然の生と、熟練の手仕事が出会って生み出される「美」がある。



竹で編まれたこまかく、美しい文様



# 有馬を

# 歩こうMAP

坂が多い有馬温泉は、そぞろ歩きが楽しいまち。旅館の多い中心部から、少し足をのばせば、美しい滝や紅葉で有名な公園など、見どころもたくさんあります。





### 5 有馬の工房

TEL.078-903-5554

温泉ざらりー、そば処「全寿庵」、市民トイレ、有料の休憩室などがある。有馬散策中の一休みにぜひ。多目的ホールで趣味の作品展などが開かれていることも。第4火曜定休。9時～18時開館。



### 6 西田筆店

TEL.078-904-0761

30ページで紹介した人形筆を製作、販売しているお店。製作風景を見ることができ、人形筆のからくりの説明をしてくれるので気軽に訪ねてみては。開店9時～17時30分、水曜定休。



### 7 有馬籠くつわ

TEL.078-904-0364

31ページでも訪ねた伝統の竹芸・有馬籠の専門店。製造実演が行なわれていることも。茶道・華道家たちが愛用する品や、普段でも使える実用品、趣味の品まで多数。開店9時～18時。



### 1 金の湯

TEL.078-904-0680

気軽に入れる外湯（市営の共同浴場）。入浴料は大人650円、小学生340円、乳幼児140円。外には無料で楽しめる足湯場もあり、人気。第2・第4火曜定休。



### 2 銀の湯

TEL.078-904-0256

銀泉（透明の炭酸泉）の外湯。入浴料は大人550円、小学生290円、乳幼児120円。第1・3火曜定休。



### 3 有馬玩具博物館

TEL.078-903-6971

からくりおもちゃ、ドイツの伝統的なおもちゃ、さわって遊べる現代のおもちゃなど、大人も楽しめる古今のおもちゃが勢揃い。大人800円、子ども500円。9時30分～17時30分（入館）。第2・3火曜定休（祝日の場合翌日休）。



### 4 太閤の湯殿館

TEL.078-904-4304

16ページで訪ねた資料館。秀吉が有馬に造らせたといわれる湯ぶねの遺構や出土品、有馬温泉の歴史・文化を紹介する。大人200円、児童・生徒100円。9時～16時30分（入館）、第2水曜定休。



8～15 は次のページに







## ⑫ 有馬ます池

TEL.078-904-0309

竿を借りて、ます釣りの後は、ますの茶屋でから揚げ、塩焼、甘露煮などます料理が楽しめる。入園料は大人150円、小学生80円、釣り料は1,000円(3尾付・料理込)。9時～17時、水・木曜定休(祝日の場合は翌日休)。



## ⑬ 鼓ヶ滝

流れ落ちる滝の音が、鼓の音のようにこだますることからその名がつけられた滝。行くまでの遊歩道も、紅葉が美しい名所。



## ⑭ 有馬わんわんランド

TEL.078-903-1199

園内にいるたくさんのわんちゃん、ご自分の愛犬と一緒に遊べるテーマパーク。わんわんレースなど楽しい施設も。入場は、大人(中学生以上)1,500円、子ども700円、同伴犬500円。(平日割引・大人1,000円、子ども700円)10時～16時30分(入園)、木曜休園。



## ⑮ 有馬地区福祉センター(有馬文庫)

TEL.078-904-0081(有馬連絡所)

福祉センターの中にある有馬文庫には、有馬の昔の地図、江戸時代の版本、史料、ガイドブックや、有馬が登場する小説や漫画など、有馬に関する書物が集められている。



## ⑧ 切手文化博物館

明治4年、日本で最初に発行された竜文切手、1840年に発行された世界初の切手など、国内外で発行された普通切手、記念切手の貴重なコレクションを多数展示。大人500円、中高生200円、以下無料。10時～15時30分(入館)、火曜定休(祝日の場合翌日休)。



## ⑨ 瑞宝寺公園

美しい紅葉で有名な公園。毎年11月2、3日には大茶会の会場となる。17ページで訪ねた、秀吉が墓を打ったといわれる墓盤もここにある。



## ⑩ 炭酸泉源

有馬名物炭酸せんべいに使われている炭酸水が湧き出す場所。飲むとピリっとした炭酸独特の味がし、サイダーもこの水が発祥ともいわれる。炭酸水は、かつては毒水といわれていたため、明治時代までは誰もこの場所には近づかなかったという。



## ⑪ 六甲有馬ロープウェー

TEL.078-891-0031

有馬温泉から、六甲山の六甲山頂駅までをつなぐロープウェー。国立公園六甲山の雄大な自然の上を通る、絶景のスカイライン。左のページで詳しくご紹介。

有馬温泉駅と、六甲山頂駅を結ぶ「六甲有馬ロープウェー」。  
六甲山頂駅ほど近くにあるのが六甲ガーデンテラス。ガラスの小物ショップや雑貨、天然石アクセサリーショップなどさまざまなお店や、ジーンズカンレ、ストラン、カフェなどが並んでいる。有馬温泉でゆっくりくつろいだ次の日は、ロープウェーに乗って、六甲山を楽しんではいかが。

# 六甲有馬ロープウェーを使って 有馬温泉から六甲山に 片道ハイキング

有馬帰りに、  
**六甲山!**



六甲ガーデンテラス



■運賃(六甲山頂駅～有馬温泉駅)

片道 980円(490円)

往復 1,770円(890円)

※( )は小人料金。

※六甲有馬ロープウェー利用者は、ロープウェー有馬温泉駅駐車場が1日無料になります。

六甲有馬ロープウェー

TEL.078-891-0031



▲ロープウェー有馬温泉駅

▲百間滝(太陽と緑の道ハイキングコース)



健康のために  
**六甲山ハイク**

極楽茶屋跡(太陽と緑の道ハイキングコース)

また、ロープウェー有馬温泉駅から、六甲山頂駅までのハイキングコース「太陽と緑の道」も人気コース。せせらぎを横に山道を進み、ミヤコザサや落葉広葉樹林に囲まれた癒しのコースで、初心者もゆっくり歩けばOK。所要時間は2時間程度。帰りはロープウェーで有馬温泉に戻って、温泉で汗を流して帰ろう。ロープウェー乗車券を提示すると、ロープウェー有馬温泉駅駐車場が無料となるのでぜひご利用を。





Kita Ward

# 北区の

# スポット

温泉帰りに訪ねたい

お湯で疲れを癒やしたあとに  
レジャーやグルメはいかが？  
有馬温泉に近い  
神戸市北区のスポットを紹介します



## 麒麟ビアパーク神戸

オープン10周年を迎え、リニューアルで楽しみも増えた麒麟ビアパーク神戸。

事前予約制のブルフリースターでは、じっくりと興味深くビールのできるまでを見学できる。新たに幅7mのワイドスクリーンシアターや直径8mの実物大の発酵・貯蔵タンクなど、ダイナミックな設備で臨場感もいっばいに。

自然との共生をテーマにした神戸工場の敷地内にはビオトープが設けられ、毎日見学会を開催。珍しい動植物とも出会える。

併設のレストランでは、地域の食材を使ったお料理をできたてのビールといっしょにどうぞ。

### info

#### ■麒麟ビアパーク神戸

神戸市北区赤松台2-1-1

078-986-8001 (工場見学)

078-984-2106 (レストラン)

<http://www.kirin.co.jp/>

ツアースタート時間 9:30~15:40

月曜休 (祝日の場合は開館)

レストラン営業時間 11:00~21:30 (20:30LO)



## 神戸市立フルーツ・フラワーパーク

四季折々の花や果実だけではなく、ホテルや遊園地を併設し、気軽にリゾート気分が楽しめる。

注目は関西初のお猿さんの公演「神戸モンキーズ」。思わずクスッと笑ってしまうコミカルなショーが大人気。旬の果樹園では実りの秋にふさわしく、10月はりんご狩りや芋掘り(園外)を楽しむことができる。また、毎週日曜朝7時から(11月より朝8時)地元の新鮮野菜などを取り扱う日曜朝市を好評開催中。

10月26日(金)には神戸ワインの新種「みのり」が登場。園内のワイン・ビール館や売店で取り扱うのでこちらも注目。

### info

■神戸市立フルーツ・フラワーパーク

神戸市北区大沢町上大沢2150

078-954-1000

<http://fruit-flowerpark.jp/>

開園時間 9:00～17:00(バーデハウスは～23:00) 無休

入園料 大人500円(高校生以上)

小人250円(小・中学生)

駐車料金 500円(乗用車)



## たき屋

創業70余年という三田牛の老舗。サラリととろける食感のあとは、ふくよかな旨味と深い甘味が口いっぱい広がる。柔らかさの極みと言える肉質の秘訣は、契約牧場で育てた雌の未經産牛にある。

直営レストランではその魅惑的な味わいを堪能できる。焼肉、すき焼き、しゃぶしゃぶ、ステーキ、石焼き、ピフカツなどお好みで。和食もおすすめで、三田牛たたき付きの松花堂「和ご膳」(1,600円)も人気。牛丼1,000円、ステーキ2,950円～とお肉屋さんゆえリーズナブル。

お持ち帰りでおみやげにも。保冷に最適と昔ながらに新聞紙にくるんで包装するこだわりも嬉しい。

### info

■たき屋

神戸市北区有野町二郎17-1

078-987-2582

<http://www.takiya1938.com>

営業時間 10:30～20:30

(レストランは20:00LO) 水曜休



「一の湯」「二の湯」「三の湯」で  
大地の恵みを満喫  
兵衛向陽閣



兵衛向陽閣

神戸市北区有馬町1904  
TEL.078-904-0501  
<http://www.hyoe.co.jp>



鎌倉時代、僧仁西上人が、薬師如来の十二神将にちなむ12の宿坊を設けたことで有馬温泉の名前は世に広がる。その内のひとつに数えられる「北の坊」が、現在の兵衛向陽閣にあたる。昨春秋には、有馬の山並みを望む自慢の庭園に、新しく大浴場「三の湯」が誕生。昔なつかしい湯治場を思わせる大浴場、金泉露天風呂、貸切風呂、女性に人気の木曽ひのき酵素風呂がそろう。今春、格子天井が美しい和風の大浴場「一の湯」と、ヨーロッパの宮殿をイメージさせる「二の湯」がリニューアル。大地の恵みを向陽閣自慢の三つの浴場で満喫したい。



四季折々に表情を変える落葉山にそびえる雄々しい姿は、ヨーロッパの古城を思わせる。神戸市が「まちなみ」に認定する神戸・景観ポイント賞を受賞した。吹き抜けのロビーフロアからは、有馬の名所・鼓力滝から流れる清流・滝川を見渡すことができる。温泉風情あふれる有馬でも随一の光景を誇る。



## 月光園鴻臚館

神戸市北区有馬町318  
TEL.078-903-2255  
<http://www.gekkoen.co.jp/>

雄々しい姿は、まるでヨーロッパの古城  
月光園鴻臚館

落葉山の麓に佇む数奇屋造りの游月山荘。鴻臚館とは滝川にかかる月光橋で結ばれる。男性・女性の象徴から名づけられた「阿福の湯」「玉鉾の湯」は、古くから子宝にご利益があると伝えられる。マクロビオティックでは、産地の有機野菜をもちいた約40種類の料理をバイキングで愉しめる。



## 月光園游月山荘

神戸市北区有馬町318  
TEL.078-904-0366  
<http://www.gekkoen.co.jp/>

マクロビオティックで  
身体に優しい料理を  
月光園游月山荘



展望大浴苑「雲海」で  
有馬の素晴らしい景色を  
有馬グランドホテル



有馬温泉で最大の客室数を誇り、上質なサービスには定評がある。有馬の素晴らしい景色を堪能できる9階の展望大浴苑「雲海」は、1フロア1700坪のスペースを浴場に。ゆったりとくつろげる大浴槽や金泉の露天風呂、婦人用には好評のハーブ湯も。庭園内にある茶室棟「雅中庵」は、大茶会の副席に。

有馬グランドホテル

神戸市北区有馬町1304-1  
TEL.078-903-5489  
<http://www.arima-gh.jp/>

一流の技が織りなす旬の美味  
中の坊瑞苑



館内に一步入ると静かで上質な空間が。ロビーからは木々の間にせせらぎが流れる美しい回遊庭園が見渡せる。そして、自慢の料理は、旬の素材をふんだんに使った献立はもちろん、その日いちばん良いものを仕入れて一流の技で調理。静かにゆっくりくつろいでほしいと、12歳以下の利用は断わっている。

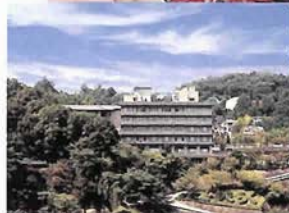
中の坊瑞苑

神戸市北区有馬町808  
TEL.078-904-0781  
<http://www.zuizen.jp>

「二湯十浴」の宿として知られる銀水荘別館兆楽。広い敷地内からは珍しいラドン含有のラジウム源泉が湧出。二湯はもちろん金泉・銀泉、十浴とは森林浴、食浴、睡眠浴、自然浴、もてなし浴…いろいろな「浴」に。昨春、敷地内に宿篋り「紫貴」がオープン。和風建築の粋を集約した癒しの空間で、上質なおもてなしを愉しみたい。

### 銀水荘別館兆楽

神戸市北区有馬町1654-1  
TEL.078-904-0666  
<http://www.choraku.com>



「二湯十浴」のもてなしのお宿  
銀水荘別館兆楽

十二坊のひとつに数えられる伝統の宿。御所、妬（うわなり）源泉から引いてくる濃厚な金湯は大地の恵みの賜物。自慢の懐石料理は、朝夕お部屋でゆっくり楽しめる。栗、すすき、館内に活けられた秋の草花と共に寛ぎのひとつを体感できる。さりげないおもてなしが嬉しい宿である。

### 角の坊

神戸市北区有馬町878  
TEL.078-904-0771  
<http://www.kadonobou.com>



さりげないおもてなしが嬉しい宿  
角の坊



楓に包まれる野趣あふれる宿

ねぎや陵楓閣



楓に包まれている野趣あふれる宿。秋には、美しく表情を変える紅葉に包まれる。毎日仕入れる新鮮な食材をつかった日替わりの懐石料理、木々に囲まれた2つの露天風呂は、くつろぎのひとつを演出。入浴つきの日帰り料金は、旬の味覚がまった「段重ね弁当「あじさい」など4350円。」

ねぎや陵楓閣

神戸市北区有馬町1537-2  
TEL.078-904-0675  
<http://www.negiya.jp>

豊富な温泉が涌出する元湯の宿

元湯古泉閣



広大な敷地の中に建つ元湯古泉閣。館内から眺める山々の景色に圧倒される。自家源泉から、1時間に6トンという豊富な温泉が涌出する。浴場の温泉は、1日2回全量入れ替え清掃し、混入物のない天然100%のお湯を使用。敷地内には、精進料理料亭「慶月」や有馬唯一のログハウス宿泊施設「ザ・ロッジアリマリゾート」も。

元湯古泉閣

神戸市北区有馬町1455-1  
TEL.0120-300-000  
<http://www.kosenkaku.com>

有馬川沿いの賑やかな立地にありながら、宿へ一步入ると、静寂な空気が。有馬特有の金泉の湯は、情緒ある岩風呂。ひのき造りの露天風呂、展望大浴場など、様々な浴場で楽しむことができます。しゃぶしゃぶ、ステーキや、宴会料理のすき焼きなど、本当においしい和牛が食べられると評判。

### 有馬御苑

神戸市北区有馬町1296  
TEL.078-904-3730 (予約専用)  
<http://www.arima-gyoen.co.jp>



自慢の「天然金泉」の宿

## 有馬御苑

ふれあう心と心が、花で結ばれますように。旅館の名前には、女将・片山和子さんのそんな素直な気持ちが表現されている。館内の至る所に飾られた花々や押し絵の数々。ほとんどが和子さんの手によるもの。大広間にある源氏物語の押し絵は気品にあふれている。優しい心遣いが嬉しい。

### 御幸荘花結び

神戸市北区有馬町1740-12  
TEL.078-904-0166  
<http://www.hanamusubi.co.jp/>



花があふれる優しいおもてなし

## 御幸荘花結び



女性心をくすぐるきめ細やかなおもてなし

## 竹取亭円山



利用客の7割が女性という竹山亭円山。ご主人自身がメインホストと自称するだけあって、女性心をくすぐるきめ細やかなおもてなしが人気。約40種類の浴衣から好みのものを選べたり、御所車で部屋まで案内してくれたり、お座敷でんぷらなどなど。竹取亭の別邸にあたる「康貴」へも通行手形をもって伺うことも。遊び心のつまった旅館。

## 竹取亭円山

神戸市北区有馬町1364-1  
TEL078-904-0631  
<http://www.taketoritei.com/>

有馬こぼれ話

## 有馬大茶会と秀吉



太閤秀吉は天下統一をほぼ成し遂げ、安らぎの地を求めて有馬温泉を訪れた。秀吉が初めて有馬を訪れたのは天正11年（1583年）8月17日。有馬の湯を気に入った秀吉はたび

たび訪れ、別荘を建てたり、北の政所（ねね）や千利休を連れて茶会を行った。しかし、慶長元年（1596）に起きた地震により、有馬は壊滅的な被害をこうむる。この時に泉源の大規模改修工事を行い、見事有馬の湯を守ったと言われているのが秀吉。有馬繁栄の礎を秀吉が築いたことから有馬の恩人と崇められている。この地で紅葉を愛で、「いくら見ても飽きない」と言ったと伝えられる。有馬瑞宝寺公園の庭は「日暮しの庭」と呼ばれているが、これは秀吉の言葉が所以となっている。

毎年、11月2日、3日、この有馬の恩人を偲び、有馬各所で茶会が開かれる。2日には善福寺で「献茶会」が開かれ、秀吉公の霊位にお茶を献上するというもの。昭和25年に始まった会は今年で56回目を迎える。もっとも有馬が華やぐ季節に、天下人・秀吉が愛した有馬の景色を満喫していただきたい。



価格630円(丸缶)  
[22枚(2枚×11袋)]



## 有馬名産 手焼き炭酸煎餅



有馬温泉にわき出る炭酸泉を利用  
して焼き上げたあつさりとした、風  
味あるおせんべいです。明治時代か  
ら親しまれた代表的な名物です。

建築されてから120年以上になります。湯本坂にある炭酸煎餅発祥の店、三津森本舗では、手焼き炭酸煎餅だけを販売しております。

元祖 **三津森本舗**

株式会社 三ツ森

〒651-1401 神戸市北区有馬町290-1 TEL.078-903-0101(代)

FAX078-903-2023 <http://www.tansan.co.jp/>



ゆたかな自然を空から満喫!

# 六甲有馬ロープウェー



## 時刻表

有馬温泉駅⇄六甲山頂駅

	始発	運転間隔	終発
春	9:13	20分	18:13 (17:33)
夏	9:13	20分	20:53 (19:13)
秋	9:13	20分	18:13 (17:33)
冬	9:13	20分	17:13 (16:53)

## 運賃表

六甲山頂駅～有馬温泉駅

	大人	小人
片道	980円	490円
往復	1,770円	890円

( )内は六甲山頂駅・山上循環バス接続最終便 【所要約12分】

## お得なセット券

六甲有馬ロープウェーの乗車券+乗り降り自由なバスの乗車券で、山上施設をゆっくりお楽しみ下さい。

裏六甲周遊乗車券	六甲有馬ロープウェー往復+山上循環バスフリー	大人 1,900円 小人 960円
六甲・有馬片道乗車券	六甲ケーブル片道+山上循環バスフリー+六甲有馬ロープウェー片道	大人 1,700円 小人 860円

## ■駐車料金無料!!

ロープウェー駐車場ご利用の方  
乗車券提示で駐車料金が無料になります。

## 六甲有馬ロープウェー

〒657-0101 神戸市灘区六甲山町北六甲4512-336  
TEL.078-891-0031 FAX078-891-0032  
HP <http://www.kobe-toshi-seibi.or.jp>

有馬温泉

## 金の湯

有馬の名物湯、金泉が楽しめる外湯「金の湯」。古来から由緒ある元湯として歴史を刻んできた名湯をご堪能ください。



- ◎大人(中学生以上) .....650円
- ◎小人(小学生) .....340円
- ◎幼児(3～5歳) .....140円

金の湯横に隣接する「太閤の足湯」(無料)にて金泉の足湯と、「太閤の飲泉場」(無料)にて銀泉のテイスティングをお楽しみ下さい。

定休日:第2・第4火曜日および1月1日  
営業時間:午前8時～午後10時(入館は午後9時30分まで)  
〒651-1401 神戸市北区有馬町833 TEL.078-904-0680  
<http://www.feel-kobe.jp/arima/>

有馬温泉

## 銀の湯

気軽に楽しむ温泉情緒。炭酸泉ラジウム泉の、銀泉が心ゆくまで楽しめる外湯「銀の湯」。



- ◎大人(中学生以上) .....550円
- ◎小人(小学生) .....290円
- ◎幼児(3～5歳) .....120円

岩風呂をイメージした浴室で気泡風呂とうたせ湯やスチームサウナをお楽しみ下さい。

定休日:第1・第3火曜日および1月1日  
営業時間:午前9時～午後9時(入館は午後8時30分まで)  
〒651-1401 神戸市北区有馬町1039-1 TEL.078-904-0256  
<http://www.feel-kobe.jp/arima/>

## 共通券

- ◎2館券(金の湯・銀の湯) .....850円
- ◎3館券(金の湯・銀の湯・太閤の湯殿館) .....1,000円

北阪  
神神  
戸高  
線速

